

一般 どのような新型コロナウイルスワクチン接種

小林 博文 (みどり21)



菊川市においても、いよいよ始まる新型コロナウイルスワクチン接種、その詳細を問う。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の状況は。

A ワクチンは人口割合により、国から県、県から市へ配分される。4月にファイザー社製が静岡県に配送され、高齢者の接種が開始される。接種方法は、市内指定医療機関での個別接種と、文化会館アエル及び中央公民館での集団接種を予約制にて実施する。プラザげやき内に、相談窓口を3月に、予約センターは4月に開設する。

Q ワクチン接種の対象とならない方は。また、その周知方法は。

A 16歳未満の方は対象外。また、接種日に発熱している方や、医師の診断等により接種できない場合がある。広報菊川、ホームページ及びSNSを活用し周知する。更に、送付書類へ説明書を同封する。



Q ワクチンを余すことなく有効な接種を行うため人員調整はするか。

A 事前予約で把握した数を配送するため過不足は生じない。現場で予約者以外の接種は考えていない。

Q 病院の入院患者、介護施設の入所者及び、工業団地へ医療チームによる巡回接種は対応可能か。

A 国が示す接種順位に従い接種していく。高齢者施設等では嘱託医師や連携医師による接種を想定している。今後も国からの情報に注視し、適切に対応していく。

一般 「マイ・タイムライン」の活用

坪井 仲治 (みどり21)



風水害発生時の行動指標となる「マイ・タイムライン」の活用は、市民の命を守る重要な事項と考え運用方法等について質問した。

Q 令和3年度の施政方針の中で「快適な環境で安心して暮らせるまち」への取り組みに「マイ・タイムライン普及活動の拡充」があるが、具体的な施策は。

A 風水害に対し市民の皆さんへ自らが身を守るために何をすべきか、いざというときにどのような行動をすべきか伝えていくことが重要と考え、新たなハザードマップにマイ・タイムライン作成用のページを設け、各家庭へ配布する。

Q 現在、ハザードマップ内の支川流域は浸水想定がされておらず過去の被害実績を基にした浸水実績が記載されているが、ハザードマップの更新作業はどの程度進んでいるか。

A 新たなハザードマップは、洪水浸水想定区域のほか、昭和57年の台風18号および令和元年の台風19号の浸水実績、日頃の備え等を記載した冊子型とし、出水期前に配布する予定である。

Q 避難時、要支援者および高齢者の避難は確実に実施しなければならぬが、この皆さんの避難移動についての施策はあるか。

A 避難行動要支援者名簿を作成し、これを自主防災会、民生委員児童委員協議会、警察署等へ情報提供し、避難行動の支援に努めている。

他に「菊川市におけるGIGAスクール」について質問しました。



防災ハザードマップ